
この柵の向こう側へ。

かさのきず

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「」の欄に向こいつ側へ。

【著者名】

N6328F

【作者名】

かわのせぎ

【あらすじ】

屋上の柵を越えるといつ、変わった週間を持つ佐上は、幼なじみの由香や、親友の井荻と共に、いじめを受けている少女、湊を救おうとする。

プロローグ

たかが三階。だけど、実際にその高さから地面を見下ろしてみると、思っていたよりも怖い。

校舎の屋上。落下防止のために取り付けられた柵の向こう側に立つて、僕はグラウンドを見下ろしていた。

グラウンドでは、これから部活を始めるのだろう。大勢の生徒が体育倉庫や、部室から荷物を運び出しているのが見える。

何故、こんな危ないことをしているのか、自分でさりげなくわかつてはいなかつた。

それでも、敢えて言つとすれば、「惰性」だろうか。

だけど、そろそろ戻らないといけない。部活が始まれば、きっと

誰かが上を向くことがあるだろう。

そうなれば、僕の姿はあつといつ間に見つかってしまう。
前科がある分、それはどうしても避けたかった。

「はあ

この場所でため息をつくと、彼女の声が聞こえてくる気がする。
「生きていれば、いいことあるよ

「そうだな

聞こえてきた言葉に、そう頷き返して、僕は戻っていく。
——この柵の向こう側へ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6328f/>

この柵の向こう側へ。

2010年10月12日05時13分発行